

愛する者よ。あなたのたましいが幸いを得ているように、あなたがすべての点で幸いを得、また健康であるように祈ります。

### ヨハネの手紙第三 2節

この手紙の著者は使徒ヨハネです。

とある教会にガイオという牧会者がいました。ガイオは信仰に篤い人物で人格的にも優れ、多くのクリスチャンから信頼を得ていました。しかし、ガイオには頭の痛い問題がありました。デオテレペスが教会を私物化しようとしていたのです。デオテレペスは自分になびく人を手なづけ、意見の合わない人は教会から追い出しました。長老ヨハネにさえ反発し、教会を混乱させました。ガイオはデオテレペスを指導できませんでした。

そのことを憂慮したヨハネはガイオに手紙を送りました。このような問題は現代でも起こることで、この手紙から問題への対処の仕方を教えられます。

最も大事なのは「支え合う」ことです。ガイオ一人では対処しきれない問題をヨハネは共に担いました。近いうちに直接教会を訪ねると約束しています。

支え合うために大切なのは、相手の人格を尊重することです。問題を抑えられなかったガイオは指導力が問われても仕方ありません。恐らく、直接面談した時にはヨハネ

は先輩として厳しいことも伝えたでしょう。しかし、この手紙にはそのようなことが書かれていません。ヨハネはガイオの至らなさが不必要に人々の記憶に留まらないように配慮し、書かなかったのでしよう。

また、支え合うとは、励ますことです。自分の手に負えない問題を抱える時、人は傷つき、自信を失います。そんな時には正論を言っても傷つくばかりです。ヨハネはガイオの傷心を思いやり、まずは彼を励ました。それはヨハネ自身がイエス様によつて辿った道です。かつて十字架を前にして主を裏切ったヨハネを、主は懇ろに扱い、信仰を回復してくださいました。主に支えられた経験を持つ人こそ、他の人を支える力を身に着けるのです。(泰)

■報告 消息

・石田牧師 本日は石岡教会へ出向。礼拝説教と教会総会での奉仕です。

・19日の礼拝後には三陸ワカメの販売を行いました。毎年行っていることで、東日本大震災の復興支援です。

本日26日礼拝後も販売を行います。  
担当 小黒姉 金川姉

・7月19日 礼拝出席者数 報告

(重複出席者数は除いています)

第1礼拝 22名

第2礼拝 47名

小学科礼拝 小3名 中高2名

・8月祈祷カレンダーは次週発行します

■支援献金募集 九州南部等豪雨災害

まだ梅雨も明けず、各地で大雨が懸念されます。被災地、被災者を覚えて、祈りましょう。

私たちはキリスト教団体を通じて支援金をお送りします。

・九州方面 豪雨災害に関して、九州キリスト災害支援センターに5万円を献金しました。

・コロナ対策 ワールドビジョンのコロナ対策に2万円を献金しました。

■礼拝説教箇所「ヨハネの手紙第三」

新約聖書のギリシャ語原典では最も短い書です。日本語訳(新改訳)では、「第二の手紙」が数行短くなっています。

長老ヨハネとは十二弟子のヨハネで、

彼が晩年に執筆したと言われます。

ヨハネが指導していた教会の一つに宛てた手紙で、デオテレペスという野心家に振り回されていた教会の牧会者ガイオを励ましています。このような問題は現代でも起こりうることで、ヨハネのアドバイスやガイオの姿から問題への対処について多くを教えられます。

■8月の礼拝説教箇所

2日 マタイの福音書①

9日 マタイの福音書②

16日 マタイの福音書③

23日 ヨエル書

30日 ハガイ書

■教会メールアドレス

zion@am.wakwak.com

メールには必ずお名前をご記入ください